

Report of Electrical and Electronics Engineering Experiment

Exp. No. 491

「フリップフロップの回路解析と設計」

2005 年度 No. E4__ __ Group____ Name_____

Partners_____

実験日 Date . . ()

Department of Electrical and electronics Engineering , Numazu College of Technology

これ以下の記入は望月のみとする

提出日	チェック項目
<p>未完成でも毎週提出に来て下さい。特別な理由なく 7 日を越えて提出しないと、期限遅延による減点の可能性があります。</p>	<p>評価点に対して全く無関係なもの 指導書を丸写しにして報告書の枚数を増やした 必須(受取るかどうかのチェック) レポートの体裁が整っている 目的を書いている 論じ方が科学的である(反対語は、「根拠の無い論じ方をする」) 実験結果に敬意を払っている 課題 1: 図 5 (RS-F/F のタイミングチャート) を完成できた 課題 2a: 実験 4a(タイミングの確認)ができた 課題 2b: 実験 4b(コントロールゲート無し回路)の実験結果を正しく予測できた 課題 2c: 実験 4c(コントロールゲート付き回路)の動作を正しく予測できた 課題 2cb: 上記 2 つの実験を正しく実施した</p>
1 . .	<p>図 11 (T-F/F の実現例-1) について T 型 F/F であると説明できる。 逆項目: この項目は、以下の項目を無効にする 期限を大幅に遅れた</p>
2 . .	<p>必須(以下の 5 項目にも必ずトライすること。平均点がつくかどうかのチェック) 論じ方が丁寧であり抜かりが無い</p>
3 . .	<p>図 13(T-F/F の実現例-2) について、図 11(c)に対応する表を作ることができる。 前項で作った表を使った説明により、図 13 を T 型 F/F であると説明できる。 図 12 は、T 型 F/F として不適切であると説明できる。</p>
4 . .	<p>課題 7: D-F/F を使って T-F/F を実現する回路と、T-F/F を使って D-F/F を実現する回路をそれぞれ設計なさい</p>
5 . .	<p>逆項目: この項目は、以下の項目を無効にする 期限を守らない</p>
6 . .	<p>逆項目: この項目は、以下の項目を無効にする 期限を守らない</p>
7 . .	<p>逆項目: この項目は、以下の項目を無効にする 期限を守らない</p>
	<p>加点ぶん 理論について、自分なりに勉強してまとめた 論じ方に独創性がある 課題 4: 図 14(b)の JK-F/F を解析し、図 14(a)の真理値表が実現されることを説明できる。 JK-F/F を使って T 型、D 型を実現できる。 課題 5,6: 同期式と非同期式回路の特徴とを把握している</p>